

卒業研究

[講義・演習] 第4学年 通年 必修 3単位

《担当者名》 常田美和 tsuneta@hoku-iryo-u.ac.jp 明野伸次 akeno@hoku-iryo-u.ac.jp
生命基礎科学：西 基 濱田淳一 守田玲菜
基礎・統合看護学講座：平典子 明野伸次 福井純子 横川亜希子 川添恵理子 御厩美登里 明野聖子 田中裕子 増田悠佑
生涯発達看護学講座：山田律子 内ヶ島伸也 八木こずえ 宮地普子 中安隆志 若濱奈々子 唐津ふさ 熊谷歌織
神田直樹 高木由希 伊藤加奈子 前川真湖 木浪智佳子 遠藤紀美恵 嶋田あゆみ

【概要】

既習の諸学を通して得た知識を活用しながら看護実践を研究的視点で捉え、研究テーマに発展させる力を養うために、研究計画作成までの過程を学ぶ。

【学修目標】

1. 講義・演習ならびに看護学実習の体験から探求したい関心領域を見いだす。
2. 見いだした関心領域について、研究の可能性などを見極めて研究テーマを絞り込む。
3. 研究テーマに関連した文献を検討し、研究の目的を明らかにする。
4. 研究目的に適した研究方法を選択する。
5. 指定の構成内容や様式を満たした研究計画書を作成する。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	看護研究の意義と方法 (講義1)	看護研究の意義と課題 研究倫理	木浪智佳子
2	看護研究の意義と方法 (講義2)	研究過程の概観 臨床疑問から研究疑問を絞り込むプロセス	明野伸次
3	看護研究の意義と方法 (講義3)	研究過程の概観 研究方法の選定(量的研究・質的研究)	明野伸次
4	看護研究の意義と方法 (講義4/演習)	文献検索の方法(演習)	常田美和 明野伸次
5 6	看護研究の意義と方法 (講義5/演習)	文献クリティークの方法(演習)	常田美和 明野伸次
7	オリエンテーション	配属講座の発表	常田美和 明野伸次
8 45	看護研究の実際	講座・研究部門ごとにゼミナール形式で卒業研究に取り組む	全担当教員

【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部(研究科)、学校の授業実施方針による

【評価方法】

- ・評価・単位認定は、各講座・研究部門の指導教員が行う。
- ・取り組みの姿勢、発表、研究計画書を総合的に評価する。

【教科書】

南裕子・野嶋佐由美編：看護における研究第2版，日本看護協会出版会，2021。

【参考書】

- 1)黒田裕子：黒田裕子の看護研究 step by step,第4版,医学書院,2017.
- 2)ボ-リットD.F., ハ-ックC.T., 近藤潤子(監訳)：看護研究 原理と方法,第2版,医学書院,2010.
- 3)ブ-リックP.J., ウッドM.J., 小玉香津子・輪湖史子(訳)：看護研究計画書作成の基本ステップ,日本看護協会出版会,1999.

- 4) 松木光子・小笠原知枝：これからの看護研究 - 基礎と応用, 第2版, 廣川書店, 2012.
- 5) 横山美江編：よくわかる看護研究の進め方・まとめ方, 量的研究のエキスパートナースをめざして, 第2版, 医歯薬出版, 2017..
- 6) グレック美鈴編：よくわかる質的研究の進め方・まとめ方 看護研究のエキスパートを目指して, 医歯薬出版, 2016.
- 7) 酒井聡樹著：これからレポート・卒論を書く若者のために, 第2版, 共立出版, 2017.
- 8) 前田樹海著：臨床ナースから看護研究まで 研究発表のプレゼンもっとよくなります!, 日本看護協会出版会, 2016.
- 9) 井部俊子：看護師のための文章ノート, 日本看護協会出版会, 2018
- 10) 小笠原喜康：新版 大学生のためのレポート・論文術, 2018.

【備考】

- ・授業の出席確認やフィードバックシート（質疑・意見等）は、Google Formsを活用する（1～6回目）。

【学修の準備】

- ・前回の内容を復習した上で講義に臨むこと。

【ディプロマ・ポリシー(学位授与方針)との関連】

DP3,1, 2, 4, 5

【学習の進め方・作成要領】

1. 学習の進め方

- 1) 看護研究の意義と方法に関する講義および演習を受ける。
- 2) 講座・研究部門ごとにゼミナル形式で卒業研究に取り組む。
なお、研究に要する費用はすべて自己負担とする。
- 3) 講座・研究部門ごとに発表会を行う。
- 4) 研究計画書を提出する。

提出期限：2022年12月5日（月）17：00（厳守）

提出先：学務部看護福祉学課

2. 作成要領（手引き参照）

1) 研究計画書の構成内容（参考例）

- ・序論（問題提起、研究の意義・背景）
- ・文献検討
- ・研究目的
- ・方法論（概念枠組み、
- 研究仮説、対象の選定方法、データの収集方法、測定用具、分析方法など）
- ・倫理的配慮
- ・文献リスト

2) 作成様式

- (1) フラットファイル（A4判、左横とじ、色はブルー）に、以下の順でとじる。
抄録、研究題目、目次、序論、文献検討、研究目的、方法、倫理的配慮、文献、図、表、資料
- (2) 下の図を参考に、フラットファイルには表紙・背表紙をつける。
- (3) 抄録は、800字程度とする。
- (4) 研究計画書の書式は、下記に従う。
A4判用紙 35字×28行 10枚程度
余白は、上下30mm、左35mm、右20mm

【実務経験】

看護師、保健師、助産師等の資格を有する教員が指導にあたる。

【実務経験を活かした教育内容】

医療現場での実務経験を活かし、看護実践を研究的視点で捉えた研究テーマを探求し、実行可能性のある研究計画書を作成するための教育を行う。

【表紙・背表紙の作成様式（参考例）】

研究題目

指導講座・研究部門

提出年月日

学生番号

学生氏名

指導教員

研究題目

学生番号
学生氏名